

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171100011		
法人名	社会福祉法人 真栄会		
事業所名	グループホーム 菜のはな		
所在地	佐賀県神埼市千代田町詫田989番地		
自己評価作成日	平成30年12月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成31年2月27日	外部評価確定日	平成31年4月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none">・ご利用者一人一人に合ったサービスを提供していく事で個別支援に繋がっている。・外出の機会を作り季節ごとの催事や見物などを行っている。・毎月、誕生会やお茶会、おやつ作りなどの行事計画をたて楽しんで生活が送れるようサービスを提供を行っている。また週に3回はレクリエーションを行っている。・管理者でもある看護師が協力医療機関の医師と医療連携をはかり健康管理に努めている。また、重度化した場合でも安心して生活出来るよう支援している。・法人全体で研修を実施し職員の質の向上に努めている。特に接遇マナーに関しては力を入れている。・特浴を増設し個浴での入浴が困難になられた方も身体に負担なく安心して入浴して頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>認知症の方との関わりを深めたい、適切な支援をしたいという願いから、グループホーム「菜のはな」は設立された。共に暮らし、支えあいながら、馴染みの関係を築くことを目標にし、日々変わる利用者の状態に合わせての支援である。利用者は、自分の生活の流れで一日を過ごしている。</p> <p>理念にも掲げている「住み慣れた地域との関わり」も年々深まっている。「ふれあい祭り」には、家族、地域の住民、子どもたちも大勢訪れ、祭りを楽しんでいる。職員も舞台上で踊りや寸劇を披露している。また、職員で地域での祭り「はんぎー競争」に参加したり、事業所周辺の美化活動にも取り組んでいる。散歩や外気浴の折に、田園風景を眺めながら、かつてはこの地域の風物詩であったクレークの「菱の実採り」を思い浮かべる利用者もある。</p> <p>レクリエーション専任の職員の配置、広い浴室に改造しての特殊浴槽増設、利用者の羞恥心にも十分に配慮した排泄支援、医療機関との密接な連携と健康管理、自然災害も考慮した避難訓練、マンネリにならないような行事の検討、言葉づかいを含む接遇マナーの勉強、家族が相談しやすい雰囲気づくりなど、利用者中心の質の高いサービスを提供している事業所である。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご利用者が安心して楽しく生活が送れる様に介護士会議のなかで『ご利用者本位』のサービスの提供が出来るよう話し合いを行っている。	ご利用者が安心して楽しく生活が送れる様に介護士会議のなかで『ご利用者本位』のサービスの提供が出来るよう話し合いを行っている。	開設当初からの運営理念を、住み慣れた地域との関わりを踏まえて再検討して、現在の運営理念を作成している。掲示されている運営理念を常に目にし、毎日の朝礼や定例の会議で、理念が目指すところを、具体的に共有している。管理者や主任の適切な助言も大きな役割を果たしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人全体で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方々の参加がある。近隣への買い物や外食等に出掛け地域の一員として生活していけるようなサービスを提供している。	法人全体で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方々の参加がある。近隣への買い物や外食等に出掛け地域の一員として生活していけるようなサービスを提供している。	自治会にも加入し、地域の一員としての自覚を持っている。職員は、毎月初めに事業所周辺の美化活動を自主的に行ったり、この地域ならではの催しである「はんぎい競争」にも参加し、地域住民とのつきあいを深めている。法人と一緒に「ふれあい祭り」には地域の子供たちや住民も大勢参加しての賑わいである。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人では行っているが、事業所では行っていない。今後は認知症カフェが開催出来るようにしていきたい。	法人では行っているが、事業所では行っていない。今後は認知症カフェが開催出来るようにしていきたい。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回開催している。毎月の行事、活動内容を報告している。また、受診、事故発生状況、研修内容、ご家族の要望等も報告し出席者からの助言や意見を基にケアの振り返りを行いサービスの向上に努めている。	2カ月に1回開催している。毎月の行事、活動内容を報告している。また、受診、事故発生状況、研修内容、ご家族の要望等も報告し出席者からの助言や意見を基にケアの振り返りを行いサービスの向上に努めている。	地域の方や、交代しての家族代表も出席しての会議である。諸報告後の意見交換も極めて有意義な時間になっている。防災無線の設置、城原川氾濫に備えての地域との協力体制、玄関スロープの延長、廊下で滑らない靴下の使用、其の他いろいろ話が出ている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には毎回、市町村の担当者の参加があつている。認知症地域支援推進委員の方の参加があり、アドバイスをいただき認知症ケアの向上に努めている。事業所の実情等は毎回報告を行っている。	運営推進会議には毎回、市町村の担当者の参加があつている。認知症地域支援推進委員の方の参加があり、アドバイスをいただき認知症ケアの向上に努めている。事業所の実情等は毎回報告を行っている。	運営推進会議時を通しての連携だけでなく、管理者や主任が直接に行政の窓口に出かけたり、電話での連携もある。住基カード、選挙時の投票手続き、入所待機者の情報、福祉関係の相談、法令改正に伴う確認等はその一例である。市の認知症防止推進委員との協力関係も築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠については、道路に面している為、不審者等が侵入してきた際、直ぐの防衛体制が困難なため施錠している。裏口は併設の特養に隣接しているため夜間以外は開錠している。身体拘束については、介護士会議の中で常に話し合いを行っている。	玄関の施錠については、道路に面している為、不審者等が侵入してきた際、直ぐの防衛体制が困難なため施錠している。裏口は併設の特養に隣接しているため夜間以外は開錠している。身体拘束については、介護士会議の中で常に話し合いを行っている。	2ヶ月毎に身体拘束をしないケアについての研修会を開いている。「車いすから立ち上がる利用者の肩に手を置いた場合」「ちょっと待つての声掛け」等具体的な場面についての研修を行っている。玄関の施錠は防犯上・安全上対策の要請があつてからのことである。外へ行きたい利用者には、職員が付き添っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体での研修会や外部研修に受講する事で、GHで提供しているサービスが適切であるか話し合いを行っている。不穏状態になられた場合は複数での対応を行いスピーチロック等が起こらないよう努めている。	法人全体での研修会や外部研修に受講する事で、GHで提供しているサービスが適切であるか話し合いを行っている。不穏状態になられた場合は複数での対応を行いスピーチロック等が起こらないよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会は法人では行っているが制度の活用実施はない。	権利擁護に関する研修会は法人では行っているが制度の活用実施はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には契約書、重要事項説明書の内容を解りやすい言葉で説明し理解、納得の上で同意を得ている。改定の際は文書にて説明を行い同意を得ている。	契約締結時には契約書、重要事項説明書の内容を解りやすい言葉で説明し理解、納得の上で同意を得ている。改定の際は文書にて説明を行い同意を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。面会やカンファレンス時に意見や要望を尋ねるようにしている。意見や要望は申し送りノートに記載し職員に周知している。職員のみでの判断が出来ない時は、管理者に報告し改善している。	玄関に意見箱を設置している。面会やカンファレンス時に意見や要望を尋ねるようにしている。意見や要望は申し送りノートに記載し職員に周知している。職員のみでの判断が出来ない時は、管理者に報告し改善している。	ご意見箱の設置、面会時の話しやすい雰囲気づくり、事業所独自のアンケート実施、運営推進会議時の家族の参加など、あらゆる機会を捉えて、意見や要望を聴いている。「エアコンの掃除が必要」との意見には、直ちに全エアコンの清掃を実施している。管理者は「言っていただけで良かった」と家族にお礼を述べている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、各部署の管理者や代表者が集まり会議にて運営方針や意見を提案している。会議内容については、職員会議や介護士会議を通じて全職員に周知している。	毎月、各部署の管理者や代表者が集まり会議にて運営方針や意見を提案している。会議内容については、職員会議や介護士会議を通じて全職員に周知している。	日常の業務や会議の中で自由に意見が出せるような工夫や雰囲気づくりに留意している。申し送りノートにも意見がみられる。マンネリにならないような月行事の検討、ホーム独自の敬老会の開催、レクリエーション専用の職員配置、利用者と関わりの時間を増やす工夫、法人だよりの編集など、運営に活かされている事例は多い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者、事務長、職員で三者面談を行い目標管理シートによる目標達成度、要望を聞く機会を設け環境整備、設備に努めている。	管理者、事務長、職員で三者面談を行い目標管理シートによる目標達成度、要望を聞く機会を設け環境整備、設備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人では定期的に研修会を開催している。希望者には、外部での研修受講の機会の確保を行っている。	法人では定期的に研修会を開催している。希望者には、外部での研修受講の機会の確保を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県老協主催の研修会や意見交換会に参加し情報交換を行っている。グループ討議での参考意見はケアに活用している。	県老協主催の研修会や意見交換会に参加し情報交換を行っている。グループ討議での参考意見はケアに活用している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人同伴での施設見学をして頂き、要望や不安な事、困っている事を確認し安心して生活されるよう努めている。	ご本人同伴での施設見学をして頂き、要望や不安な事、困っている事を確認し安心して生活されるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントする際に、ご家族の要望や困りごとを把握しプランに取り入れる事で安心できる関係作りに努めている。	アセスメントする際に、ご家族の要望や困りごとを把握しプランに取り入れる事で安心できる関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の様子、ご利用者やご家族の要望を確認し必要なサービスを提供出来るよう努めている。	入居前の様子、ご利用者やご家族の要望を確認し必要なサービスを提供出来るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事手伝いや得意な事を模索し職員と一緒に作業を行う事で役割を持って頂いている。	家事手伝いや得意な事を模索し職員と一緒に作業を行う事で役割を持って頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	法人や事業所での催事に、ご家族と一緒に参加して頂き交流を多く持たれる様に支援している。ケアプラン作成時に家族面会をサービス内容に取り入れている。	法人や事業所での催事に、ご家族と一緒に参加して頂き交流を多く持たれる様に支援している。ケアプラン作成時に家族面会をサービス内容に取り入れている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室には、ご本人やご家族の希望で家族写真を飾っている。日常会話の中でご家族の事、生まれ育った場所を話題に上げている。馴染みの方の来訪時はご本人の普段の様子などを話している。	居室には、ご本人やご家族の希望で家族写真を飾っている。日常会話の中でご家族の事、生まれ育った場所を話題に上げている。馴染みの方の来訪時はご本人の普段の様子などを話している。	家族やかつての知り合いが訪問しやすい環境づくりを心がけ、訪問時にはお茶や椅子を準備している。家族の協力を得て行きつけの美容室を利用したり、法事やお墓参りに出かける方もある。正月には一時帰宅したり、毎週外泊する利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係を把握し、職員が間に入る事で円滑な関係が構築できるよう努めている。また利用者間でトラブルに発展しないように見守りを行っている。	ご利用者同士の関係を把握し、職員が間に入る事で円滑な関係が構築できるよう努めている。また利用者間でトラブルに発展しないように見守りを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても併設のケアマネジャーや特養ケアマネジャーを通じ情報の共有に努めている。	サービス利用が終了しても併設のケアマネジャーや特養ケアマネジャーを通じ情報の共有に努めている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個別支援につなげられるよう、日常会話の中で個々の要望、意向の把握に努めている。介護士会議では毎月ケース検討を行いご本人の要望に添えるよう話し合いを行っている。	個別支援につなげられるよう、日常会話の中で個々の要望、意向の把握に努めている。介護士会議では毎月ケース検討を行いご本人の要望に添えるよう話し合いを行っている。	担当職員制を設けており、特に利用者とのつながりが深くなっている。普段だけでなく、入浴時や夜間帯を捉えての会話、表情の変化や動作から利用者の気持ちや願いを察して、個別支援に活かしている。利用者のつぶやき、独り言、少しの行動に、職員は敏感に反応し、支援にあたっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、入所経緯等をご本人、ご家族、担当ケアマネジャーより情報収集を行っている。内容については申し送りにより職員に周知している。	生活歴、入所経緯等をご本人、ご家族、担当ケアマネジャーより情報収集を行っている。内容については申し送りにより職員に周知している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録、申し送り等で一人一人の状態把握に努めている。必要に応じて検討を行い現状に合わせたサービスを提供出来るよう努めている。	記録、申し送り等で一人一人の状態把握に努めている。必要に応じて検討を行い現状に合わせたサービスを提供出来るよう努めている。不穏症状が強い方に対しては個別の申し送りノートに日々の様子を記載し現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護士会議でのケース検討で課題やサービスの提供の仕方について話し合い、必要に応じてご家族に報告を行い介護計画の見直しを行っている。	介護士会議でのケース検討で課題やサービスの提供の仕方について話し合い、必要に応じてご家族に報告を行い介護計画の見直しを行っている。	日頃の関わりの中で、本人や家族の意向や希望を反映した、具体的で利用者中心の介護計画である。介護計画作成時には、アセスメントの再確認、モニタリングを行い、適宜ケース検討会議も開き、計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録システムに入力し、申し送りノートを活用し職員間での情報の共有を行っている。介護士会議で事例検討を行っている。	記録システムに入力し、申し送りノートを活用し職員間での情報の共有を行っている。介護士会議で事例検討を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況やニーズに応じてご家族と話し合いを行い柔軟なサービスの提供に取り組んでいる。	ご本人の状況やニーズに応じてご家族と話し合いを行い柔軟なサービスの提供に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣への買い物、外食等外出の機会を作り楽しんで生活されるよう支援している。	近隣への買い物、外食等外出の機会を作り楽しんで生活されるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	異常の早期発見に努め体調に変化があれば迅速にかかりつけ医に報告し指示を仰いでいる。他の医療機関受診に際しては、ご本人、ご家族の意向に沿えるよう支援している。	異常の早期発見に努め体調に変化があれば迅速にかかりつけ医に報告し指示を仰いでいる。他の医療機関受診に際しては、ご本人、ご家族の意向に沿えるよう支援している。	利用者や家族が希望する病院での受診である。かかりつけ医の変更希望にも柔軟に対応している。協力医療機関とは、何時でも相談できる関係にあり、内科医の2週間ごとの定期的な往診を受けている。緊急時の即時な対応と相まって、家族の安心感につながっている。毎週定期的な協力歯科医での受診にも支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は適時管理者である看護師に状況報告を行い、その都度、助言や指導を受けている。	介護職員は適時管理者である看護師に状況報告を行い、その都度、助言や指導を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご家族と一緒に受診し医療機関に情報提供を行っている。入院中は状態確認に行き、都度担当看護師等より情報を得、医療連携担当者と連絡を取り合っている。退院後の受診も対応している。	入院時はご家族と一緒に受診し医療機関に情報提供を行っている。入院中は状態確認に行き、都度担当看護師等より情報を得、医療連携担当者と連絡を取り合っている。退院後の受診も対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の方針については、契約時に説明をし、終末期と医師が判断した場合には終末期に関する指針の説明を行い同意を得ている。介護士会議で話し合いチームで支援が出来るように努めている。	重度化や終末期の方針については、契約時に説明をし、終末期と医師が判断した場合には終末期に関する指針の説明を行い同意を得ている。介護士会議で話し合いチームで支援が出来るように努めている。	契約時に指針を基に丁寧に説明し、納得をもらっている。看取り介護についても、アンケートも実施し、重度化した場合は再度アンケートももらい、家族と各関係者でその時の状況に応じて話し合いをもっている。これまで看取りの事例も数件ある。家族も一緒に泊まり、利用者も玄関で最期の見送りをしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人で救命救急の研修会を実施している。AEDや心肺蘇生法を学びご利用者の急変や事故発生時に全職員が対応出来るように備えている。	法人で救命救急の研修会を実施している。AEDや心肺蘇生法を学びご利用者の急変や事故発生時に全職員が対応出来るように備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施している。訓練には地域住民の方々にも参加して頂き協力体制を築いている。今年度GHでは水害時避難訓練を行った。	年2回避難訓練を実施している。訓練には地域住民の方々にも参加して頂き協力体制を築いている。今年度GHでは水害時避難訓練を行った。	夜間の火災を想定して、隣接の法人の応援も得ての実施である。地域住民も10名程の参加と協力がある。火元点検も定期的に行っている。地元消防団には別の機会に、消火栓の場所や居室の場所等を確認してもらっている。また、ホーム独自の水害時避難訓練を、職員には予告なしで行い、諸課題を見つけている。地震災害、飲料水や食料品の備蓄にも対応している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者の誇りやプライドを傷つけないような対応を行っている。法人では接遇に重点を置いている。言葉使いに関しては、お互いが注意しあえる関係を目指している。	ご利用者の誇りやプライドを傷つけないような対応を行っている。法人では接遇に重点を置いている。言葉使いに関しては、お互いが注意しあえる関係を目指している。	利用者一人ひとりの尊厳と個性の尊重を、支援の基盤にしている。利用者がこれまでの人生で誇りにしていることを大事にした支援である。一人ひとりに声をかけながらの配膳、「手伝ってもらえますか」「ありがとうございました」の言葉、羞恥心にも十分に配慮した排泄支援、優しさが感じられる関わり方など、多くの支援の様子を見ることができた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中の何気ない会話の中から、ご利用者の思いを聞きだし自己決定出来るような言葉掛けを行っている。	日常生活の中の何気ない会話の中から、ご利用者の思いを聞きだし自己決定出来るような言葉掛けを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に「ご利用者主体」という事を念頭に置きその人らしい生活の提供をしていくように支援している。	常に「ご利用者主体」という事を念頭に置きその人らしい生活の提供をしていくように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	就寝、起床時には更衣を行っている。洋服を選べる方に関しては、着られる服と一緒に選んでいる。化粧をされる方には買い物に同行し化粧品を購入している。	就寝、起床時には更衣を行っている。自身で洗顔が出来ない方にはホットタオルを使用している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は併設の特養栄養課の厨房で調理するため準備や食事を作る機会は無くなったが、おやつ作り等は月行事に取り入れている。食器拭きやお膳拭き、テーブル拭き等のご利用者が率先してされている。昼、夕は職員もご利用者と一緒に食事をしている。	食事は併設の特養栄養課の厨房で調理するため準備や食事を作る機会は無くなったが、おやつ作り等は月行事に取り入れている。食器拭きやお膳拭き、テーブル拭き等のご利用者が率先してされている。昼、夕は職員もご利用者と一緒に食事をしている。	普段は職員も利用者と一緒に食事をいただいている。利用者は自分なりの調子で食事を摂っている。隣りの方と話しながら食事する方もいる。「おいしいね」「ゆっくり食べていよ」「台拭きを手伝ってもらえますか」「ありがとう」などの声も聞かれた。調理は厨房で調理して運ばれてくるが、ご飯はホームで炊き、味噌汁も作っている。、その他の汁ものは温め直してから、配膳している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。食事摂取量、水分量は毎回チェックを行っている。水分摂取量に制限のある方は介護士会議にて周知している。	管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。食事摂取量、水分量は毎回チェックを行っている。水分摂取量に制限のある方は介護士会議にて周知している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後口腔ケアを行っている。個々の口腔の状態に応じてケアを行い洗口液や義歯洗浄剤を使用し口腔内の清潔保持に努めている。	起床時、毎食後口腔ケアを行っている。個々の口腔の状態に応じてケアを行い洗口液や義歯洗浄剤を使用し口腔内の清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	座位が取れる方についてはオムツを着用されているも日中はトイレ誘導を行っている。排泄チェック表を活用し定時の誘導以外にも排泄パターンを考慮し誘導を行っている。自立の方に対しても排泄後に言葉掛けを行なっている。	排泄チェック表を活用し定時の誘導、排泄パターンを考慮し誘導を行っている。自立の方に対しても排泄後に言葉掛けを行なっている。	日中はトイレでの排泄を基本としている。工夫された排泄チェック表や尿意を現す動作や言葉から、一人ひとりの排泄パターンや習慣が把握され、個別の排泄支援を行っている。自立の方への声かけも丁寧である。夜間だけポータブルトイレ介助の方や、棒センサーによる察知の方もいるが、現在、使用しない方向で検討中である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を促すために、毎朝牛乳を提供している。日中の水分量のチェックや適度の運動(体操)を行っている。	自然排便を促すために、毎朝牛乳を提供している。日中の水分量のチェックや適度の運動(体操)を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	状態に合わせ、個浴・機械浴を使用している。午前、午後に入浴を行い拒否された場合も無理強いせず、出来る限りご利用者の気分に合わせている。毎日、起床時には全更衣を行い入浴されない方に対しては清拭を行っている。毎日入浴を希望される方に対しては可能な限り対応している。	状態に合わせ、個浴・機械浴を使用している。午前、午後に入浴を行い拒否された場合も無理強いせず、出来る限りご利用者の気分に合わせている。毎日、起床時には全更衣を行い入浴されない方に対しては清拭を行っている。毎日入浴を希望される方に対しては可能な限り対応している。	週3回の入浴を基本にしているが、希望して毎日のように入浴する利用者もある。特殊浴槽を設置し、利用者の状況に合わせて普通浴槽での入浴と使い分けている。特浴の導入は、利用者だけでなく、職員の負担軽減にもなっている。脱衣場だけでなく、浴室にもヒーターを設置する等、気持ちの良い入浴の工夫がある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のペース、状態に合わせて午前、午後いずれかの時間帯に休息して頂いている。寝具調整や居室室温調整を行い快適な睡眠がとれる様に支援している。	ご本人のペース、状態に合わせて午前、午後いずれかの時間帯に休息して頂いている。寝具調整や居室室温調整を行い快適な睡眠がとれる様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員で行っている。薬情はファイルに綴りいつでも確認出来る様にしている。服薬時は複数職員で確認し誤薬に注意している。	服薬管理は職員で行っている。薬情はファイルに綴りいつでも確認出来る様にしている。服薬時は複数職員で確認し誤薬に注意している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	週に3回行うレクリエーションは、歌やクイズ、体操などを取り入れご利用者が楽しんで参加されるよう支援を行っている。裁縫が得意な方には縫い物をお願いしている。	週に3回行うレクリエーションに参加されるよう言葉掛け、案内を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じた見物やドライブを行っている。天気が良い日は近隣へ散歩に同行し、散歩に行けない方に対しては玄関前で外気浴を行っている。嗜好品の買い物等は個別に行っている。	季節に応じた見物やドライブを行っている。天気が良い日は近隣へ散歩に同行し、散歩に行けない方に対しては玄関前で外気浴を行っている。	ホーム周辺や隣接する法人関係の施設内を散歩したり、田園風景を見ながらの外気浴で、季節の移り変わり感じてもらっている。車いす利用の方も一緒に散歩している。初詣、花見、紫陽花や紅葉見学、雛祭り見学等、利用者が楽しみなドライブもある。おやつや化粧品等の買い物や、弁当を持っての外出もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	生活用品、嗜好品等の買い物の金銭管理は(支払)、ほぼ職員で行っているが、ご自身で管理されている方もあり買い物等の希望がある時は職員が同行している。	生活用品、嗜好品等の買い物の金銭管理は(支払)、職員で行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙を書かれる方に対しては、併設の特養のポストに投函をしている。電話をかけられる事はない。	電話をされたり手紙のやり取りをされる方はいらしゃらない。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(南)	自己評価／ユニットB(北)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、フロアに季節の花を飾ったりフロアの壁には外出先での写真やご利用者の作品等を掲示している。不快をまねくような刺激には細心の注意を払っている。	玄関、フロアに季節の花を飾ったりフロアの壁には外出先での写真やご利用者の作品等を掲示している。不快をまねくような刺激には細心の注意を払っている。	リビングは、高い吹き抜け天井様式の造りで、自然採光で明るく、また、静かでもある。効果的に配置されたソファでゆっくりと寛いだり、録画した好きな歌番組のテレビを見たり、新聞を読んでいる方もある。玄関には、外気浴で使用するベンチを置いたり、季節の花も飾られている。どこも清掃が行き届き清潔感がある。窓も職員の手でくもりなく磨かれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにはソファが2か所あり玄関には内、外にベンチを設置している。思い思いに過ごされるよう工夫をしている。	フロアにはソファが2か所あり玄関には内、外にベンチを設置している。思い思いに過ごされるよう工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される際、使い慣れた家具類を持って来られる方もいらっしゃれば、簡易タンスを購入して来られる方もあり様々だが配置や飾り付けなどご家族と共に行っている。	入居される際、使い慣れた家具類を持って来られる方もいらっしゃれば、簡易タンスを購入して来られる方もあり様々だが配置や飾り付けなどご家族と共に行っている。	各居室とも、その方らしくて、落ち着きゆっくりと過ごせる場所になっている。家族の協力で、馴染みの物や好みの品で室内が構成されている。時計、輝いていた時の自分や家族の写真、ご位牌、趣味の手芸作品や書道作品、その他いろいろな物を拝見できた。各居室の入口のぬいぐるみや下げものは、自室の目印と避難の際の避難済み確認の目印となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室がわからない方の居室前には目印を置き、トイレには「トイレ」と場所をわかりやすく表示している。また、言葉掛けを行ない行かれない場所へ自身で行かれるよう工夫している。	自室がわからない方に対しては言葉掛けや誘導を行っている。トイレには「トイレ」と場所をわかりやすく表示している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
		○	○	3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○		1. 毎日ある
			○	2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
・ご利用者一人一人に合ったサービスを提供していく事	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○		3. 利用者の1/3くらいが
			○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)			1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
		○	○	3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
		○	○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
		○	○	3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)			1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
		○		3. 職員の1/3くらいが
			○	4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。			1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
		○	○	3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない